

内科

下剤と大腸メラノーシスについて

便秘にならないためには、食物繊維や乳酸菌をとり続けることが重要ですが、ひどい便秘になってしまった時には、下剤を使います。日本で使われている多くの下剤や、便秘に良いと言われるお茶には、センナ・ダイオウ・アロエなどの成分を含んだ、アントラキノン系の製品が

多く、長期に連用すると大腸にメラノーシスという色素沈着をきたす原因となります。色素沈着が粘膜の深部から粘膜下組織まで波及すると、深部の筋層にある神経細胞の変性・減少をもたらし、腸の蠕動機能を低下させ、結果として便秘を悪化させるという悪循環に陥ること



福本 学

内科

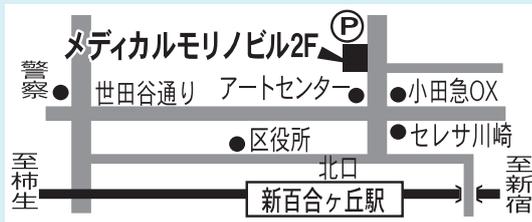
新百合山手福本内科

☎ 044-955-8877

麻生区万福寺 6-7-2

メディカルモリノビル 2F

<http://www.fukumotonaika.jp>



になります。下剤の種類を変更したり、時間をかけても下剤が不要になることを目標に、生活習慣を見直してゆくことが必要です。水溶性食物繊維には便秘改善だけでなく、血糖値の上昇を防ぎ、コレステロール吸収抑制効果があることが知られています。